

科目名	フィジカルアセスメント Physical Assessment		科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	佐藤ゆか*, 青山恵美*, 長崎由紀子*, 黒澤昌洋*, 山内豊明*, 川原千香子*, *:実務家教員		必修・選択	選択	開講年次	第1学年
					開講学期	前学期
科目概要	高度実践看護師として複雑な健康問題を有する対象の看護臨床判断を行うためには、対象の身体状況の的確なフィジカルアセスメントが不可欠である。本科目では、身体診査に必要な基本知識と技法を学び、それらを活用した看護臨床判断の実際を事例を通して学ぶ。					
目標	1 フィジカルアセスメントの意義及びヘルスアセスメントの概念を説明できる。 2 身体診査に必要な知識に基づき、系統的なフィジカルアセスメントができる。 3 事例を通し、総合的なフィジカルアセスメントから、複雑な健康問題を有する対象の看護臨床判断を行い、対象の抱える健康問題を特定できる。					
内 容	1	R4. 4. 22(金) 4～6 【対面】	概論	フィジカルアセスメントの意義 ヘルスアセスメントの概念と構造	山内豊明	
	2			ヘルスアセスメントの実際 様々な臨床場面	山内豊明	
	3		呼吸器系	フィジカルアセスメントの実際/異常呼吸音・正常呼吸音	山内豊明	
	4	フィジカルアセスメントの実際/呼吸音聴診の総合評価 (シミュレーターを使用した演習含む)		山内豊明		
	5	R4. 4. 23(土) 2～5 【対面】	循環器系	フィジカルアセスメントの実際/心音・心雑音	山内豊明	
	6			フィジカルアセスメントの実際/循環系総合評価 (シミュレーターを使用した演習含む)	山内豊明	
	7		消化器系 腎・泌尿器系	フィジカルアセスメントの実際/腹部膨満・腹水・腹痛・排尿障害, 消化器系, 腎・泌尿器系の総合評価	山内豊明	
	8	R4. 4. 24(日) 1～3 【対面】	感覚系・中枢神経系 ・運動系	フィジカルアセスメントの実際/意識障害・高次脳機能	山内豊明	
	9			フィジカルアセスメントの実際/運動系, ROM・MMT	山内豊明	
	10			フィジカルアセスメントの実際/脳神経・感覚系, 運動系の総合評価 (シミュレーターを使用した演習含む)	山内豊明	
	11		包括的アセスメント	包括的フィジカルアセスメントの実際 (シミュレーションによる演習)	黒澤昌洋 佐藤ゆか 青山恵美 長崎由紀子	
	12					
	13		事例を用いた看護臨床判断	問診と身体診査による対象者の徴候・症状の把握と客観的な看護臨床判断	川原千香子	
	14				佐藤ゆか 青山恵美 長崎由紀子	
	15					問診と身体診査による対象者の徴候・症状の把握と客観的な看護臨床判断の実際 (シミュレーションによる演習)
学修方法	1 テキストを十分に読み込み、積極的に授業に臨むこと。 2 授業では、講義に加え、身体診査の技法の演習を行う。 3 1コマあたり、90分以上の事前・事後学修が必要になる。 4 講義・演習内容への質問、レポート内容については、適宜、フィードバックを行う。					
評価方法	講義・演習への参加度(50%), フィジカルアセスメントに関する課題レポート(50%)					
教科書・参考書	テキスト: 1 山内豊明:「フィジカルアセスメント ガイドブックー目と手と耳でここまでわかる」, 医学書院, 第2版(2015/11), 2,640円(税込) 2 山内豊明(2014):「フィジカルアセスメント ワークブック 身体の仕組みと働きをアセスメントにつなげる」, 医学書院, 第1版(2015/11), 1,980円(税込) 参考書:授業の中で提示する。					
履修上の注意	基本的な形態機能学の知識を有することが前提となる授業・演習である。シラバスに沿って事前学修を進め、必要な知識を再確認しておくこと。 3分の2以上の出席を満たしている場合、評価対象とする。					

オフィスアワー

佐藤 ゆか：木曜日 16:20～17:50 看護学部棟 4階 N453研究室
青山 恵美：木曜日 16:20～17:50 基礎科学棟 3階 N375研究室
長崎由紀子：木曜日 16:20～17:50 基礎科学棟 3階 N363研究室
黒澤 昌洋：月曜日 16:30～18:00 C棟 5階 個人研究室③
※ 兼担・非常勤講師については別紙にて配布する。